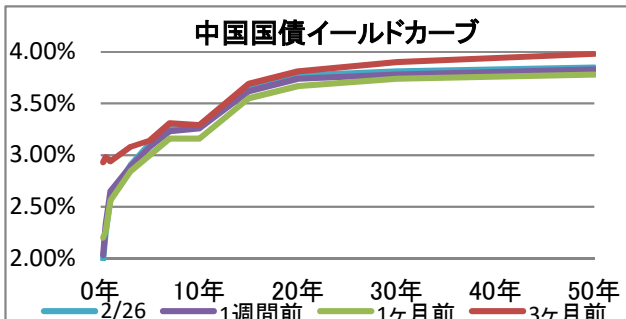
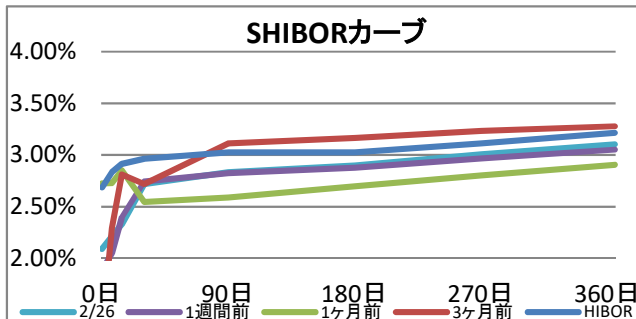


①市場概況

基準レート		2021/2/26	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.4713	0.0089
	JPY/CNY	6.0831	-0.0344
SHIBOR	3M	2.8330%	+0.0090%
国債利回り	10年	3.28%	+0.02%
上海総合指数		3,509.08	-187.09



(1) 概況

欧米で新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、米国ではバイデン新大統領の大型経済対策の成立期待が高まる中、金融市場では経済回復による金融緩和策の縮小や需給悪化を懸念して債券利回りが急上昇する状況となり、株式市場も金利上昇と高値警戒感から大きく調整するリスクオフの状態となってドルが買い戻されている。中国では懸念された春節連休後の新型コロナウイルス感染拡大もなく、資金市場における足下の資金需給や金利水準は安定しているものの、3月初に始まる全人代後の債券増発懸念や世界的な株式と債券の急落の影響を受けて株式市場が急落しており、国債利回りも若干上昇し、人民元は対ドルで小幅安となっている。

3月に始まる全人代を前に、香港やマカオを含む大湾区建設工作要点が準備され、深圳を模範とする開放により科学技術が集まる世界一流の港湾都市にするとの目標が掲げられており、香港における青年教育計画や立法会（国会）の選挙制度見直しも検討されると報道されている。

また、中国人民銀行は国家プロジェクトとして推進されているデジタル通貨プラットフォームを活用したデジタル通貨のクロスボーダー決済システムの共同研究を香港やタイ、UAEと推進することを公表している。

(2) 金融調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日900億元に対し、新規リバースオペ700億元を実施し、差引き200億元を吸収している。

(3) 主な経済指標

国家統計局のPMI (2月) は、製造業が50.6%、非製造業が51.4%となり、総合でも51.6%と、12ヶ月連続で拡大を示す50%を上回ったものの、春節による季節要因の影響もあってか、水準はこの間で最も低くなっており、拡大ペースの鈍化が顕著となっている。製造業では生産、新規受注等の全てのサブ指数が前月比で低下している。

②資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	2.0920%	2.2400%	2.5000%	
1W	2.2140%	2.2000%	2.3500%	2.0000%
2W	2.3280%	2.6000%	3.0000%	2.0000%
1M	2.7190%	3.0000%	19.0000%	2.1000%
3M	2.8330%	6.0000%	3.8000%	2.7000%
6M	2.9000%	2.9800%	3.2000%	2.8800%
9M	3.0070%			3.0400%
12M	3.1040%	3.8000%		3.1500%

中国人民銀行は、春節連休前に供給していた資金の吸収を進めつつ、少額の資金供給を続けることにより金融調節姿勢に変化がないことを示して市場に安心感をもたらしている。これにより、短期の金利水準は概ね落ち着いて小幅に低下しているものの、月末週ということや経済回復による金融政策の正常化への移行懸念から長めの期間の金利水準は高止まりしている。ターム物の出合いは1ヶ月を除き限定的となっている。

NCDも、1ヶ月程度までの短期については金利が低下しているものの、3ヶ月を超える期間については高止まりの状況が続いている。ターム物の金利水準は、3ヶ月物が2.70%前後、6ヶ月が2.85%前後、1年が3.15%前後での出合いとなっている。

(2) 米ドル資金 (本土内)

	BID	OFFER
ON	0.01%	0.02%
1W	0.02%	0.03%
1M	0.10%	0.12%
3M	0.30%	0.35%
6M	0.45%	0.50%
12M	0.62%	0.65%

資金需給が緩んだ状況に変化はなく、金利水準もおおむね横ばいで推移している。金利水準は、1ヶ月が0.12%前後、3ヶ月は0.1%台での出合いも聞かれたが0.30%前後での取引が続いている。

### ③人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.99%	2.10%	2.74%	2.83%	3.38%
6M	2.25%	2.29%	2.91%	3.05%	3.60%
1Y	2.60%	2.67%	3.08%	3.16%	3.74%
3Y	2.90%	3.08%	3.41%	3.67%	4.36%
5Y	3.11%	3.28%	3.69%	3.81%	4.52%
10Y	3.28%	3.57%	3.97%	4.14%	4.88%

債券市場では、早期に金融政策が変更されるとの見方は少なく、株式市場の下落も下支えとなっているものの、景気回復による金融政策変更や3月に開催される全人代以降の債券増発懸念もあって、国債利回りは小幅ながら上昇している。

イールドカーブは短期が低下する一方で中長期が横ばいから上昇となったことによりスティープニングが進み、クレジットスプレッドは信用債利回りの低下を主因に縮小が続いている。

### ④先物為替市場

	USD / CNY
1W	33.3 / 33.7
1M	158.0 / 160.0
3M	452.0 / 457.0
6M	873.0 / 878.0
9M	1280.0 / 1284.0
12M	1691.0 / 1699.0

対ドル基準レートは、6.4713と前週末比+89pipsのドル高元安、対円基準レートは6.0831と同-344pipsの円安元高と、世界的なドル高を反映した設定となっている。長期的な人民元高期待は残っているものの、世界的な景気回復期待の高まりや米国長期債利回りの上昇による米中金利差縮小に加えて月末のドル需要もあって、ドルが底堅く推移する展開となった。

先物は、ドル、人民元ともに金利水準に大きな変化がなく、スワップ幅にも大きな変化はなく高止まりの状態が続き、1年では1,700前後での取引が続いた。

### ⑤金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	2.51%		2.21%
6M	2.59%	2.95%	2.29%
9M	2.65%	3.03%	2.29%
1Y	2.69%	3.11%	2.30%
3Y	2.90%	3.43%	2.45%
5Y	3.08%	3.63%	
7Y	3.22%	3.78%	
10Y	3.38%	3.96%	

債券利回りに大きな変化がなく、スワップ金利にも目立った変化はなかった。債券利回りとの金利差であるスワップスプレッドも短期債利回りがやや大きく低下していたことによりスプレッドが拡大したことを除き、概ね変化はない。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。  
 ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。  
 ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。